

(様式 2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

龍野健康福祉事務所

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<ul style="list-style-type: none">● 当管内では高齢化の進展が著しい為、平成29年度から令和5年度の7年間、フレイル予防に取り組んだ。その結果、フレイル予防の重要性や手段が周知され、知識を応用して実践する配食事業者が育つ等いくつかの成果があった。● 一方で、市町保健センターもフレイル予防事業に努めて市町と健福の適切な棲み分けが必要である。● また、フレイル以外にも可及的速やかに介入すべき健康課題は多くあり、第4次食育計画の基本理念の実現のために専念すべき課題を、整理する必要がある。
今年度の推進方策	<ul style="list-style-type: none">● 昨年度までのフレイル予防事業をまとめ市町へ報告する。● 管内市町の栄養指導業務の現状等を把握し、市町では介入できない層の存在や困りごとの共有、県の介入を望む分野の抽出等課題探しをする。● 地域活動栄養士等フリーランス栄養士の把握をする。● 並行して、栄養ケアステーションの仕組みを学習する。
成果	<ul style="list-style-type: none">● 前年度までのフレイル予防事業をまとめ、管内市町へ報告する● 県主体で作成した成果物を市町へ共有した。● 管内2市2町の保健栄養指導業務の現状や、困りごとを聴取した。● 管内2市2町で活動中の地域活動栄養士のうち、市町事業を受託した経験のある者を把握できた。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">● 共有したフレイル予防指導媒体が有効に活用されるよう、必要に応じて助言をする。● 令和6年度のヒアリングは、市町栄養士のみを対象としたものであったので、次年度は、高年福祉主管課等幅を広げて他職種の考えを聞く必要がある。● 把握した管内2市2町の地域活動栄養士等フリーランス栄養士を対象に集会を開き、活動の現状を伺う。

2 会議の開催状況

実施日時	令和7年3月18日(火) 16:05~16:40
参集者 (団体数 及び人数)	管内2市2町栄養士 計6名 (たつの市1名、宍粟市2名、太子町2名、佐用町1名)
協議内容	1 管内各市町フレイル予防事業実施状況について 2 兵庫県 健やか食育推進事業について 3 市町における栄養指導の現状とこれからの事業について
今後の方策	次年度も、本年度同様に各市町へヒアリングに訪問(健康増進主管課に限らず)することとし、年度末には、意見を集約のうえ報告会兼会議を開催する。

3 食育実践活動の結果

テーマ	管内各市町の保健栄養指導業務のヒアリング		
対象及び参加者数	各市町健康増進主管課配置の栄養士 (たつの市1名、宍粟市1名、太子町2名、佐用町2名)		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	R7. 1. 21 たつの市はつらつセンター	たつの市ヒアリング “保健栄養指導業務の現状、考え、ニーズ、市民の状況について”	健福栄養士1名 市栄養士1名
	R7. 1. 22 宍粟市役所北庁舎	宍粟市ヒアリング “保健栄養指導業務の現状、考え、ニーズ、市民の状況について”	健福栄養士1名 市栄養士1名
	R7. 2. 19 佐用町役場	佐用町ヒアリング “保健栄養指導業務の現状、考え、ニーズ、町民の状況について”	健福栄養士1名 町栄養士2名
	R7. 3. 11 オンライン	太子町ヒアリング “保健栄養指導業務の現状、考え、ニーズ、町民の状況について”	健福栄養士1名 町栄養士2名
	通年	地域活動栄養士等フリーランス 栄養士の把握	健福栄養士1名 2市2町栄養士
成 果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度までに県主体で実施したフレイル予防事業の実施内容を報告するとともに、県主体で作成した成果物を共有できた。 管内2市2町の保健栄養指導業務の現状や、困りごとを聴取できた。 管内2市2町の地域活動栄養士等フリーランス栄養士を把握した。 <p>【評価指標と目標値及び達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 		
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 栄養士職以外の視点から、管内市町における保健栄養指導の現状や課題等の把握をする必要がある。 ● 管内市町関係者と共に今後の取り組みの方向性を検討する必要がある。 ● 栄養ケアステーションの仕組みや県外他市町の取り組みを、健福祉事務所栄養士が理解する必要がある。 ● 栄養支援を実施出来る人材を育成すること、及び新規人材の掘り起こしをする必要がある。 		



令和6年度

健やか食育プロジェクト事業

これまでの事業 と これからの事業

高齢化の進展が著しい龍野健康福祉事務所では、
平成29年度から令和5年度の7年度間フレイル予防事業を実施



食育講話



延べ参加者約 550 名

フレイル予防レシピの配布



配食弁当事業者への教育



これまでの成果

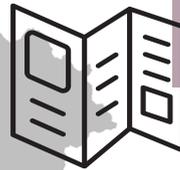
- 後期高齢者以前の年代を含む延べ約 550 名にフレイル予防教育を実施。
- 地区組織と協同で作成したフレイル予防レシピを、移動販売車の協力によって、自由な買い物が困難な山間部地域へ配布。
- 配食サービス関係者を対象に、フレイル予防を考慮した献立の立て方や配り方の指導を実施。

各市町面談と健やか食育推進会議で市町栄養士さんの気持ちをヒアリング

フレイル予防を強化し、地元に着実に実施されている。



フレイル予防事業では、県のチェックシートが役に立っている。



働き世代や生活困窮者等市町では介入出来ない層がある。



一体化事業の一環で栄養指導を実施しているが、栄養指導が出来る人材が不足している。



嚥下や医療の知識が足りない場合もある。

ヒアリング結果

- R2 年高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施が進められてから、市町でフレイル予防に力を入れている。
- フレイル予防以外にも可及的速やかに介入すべき健康課題はたくさんある。
- どのような事業を展開する場合も栄養指導を行う人材が必要だが、知識の豊富な栄養指導者が十分にいない。

次年度の計画

- 高年福祉主管課等幅を広げて、他職種の考えも聞く場を作る予定。
- 市町事業の受託経験がある地域活動栄養士を把握した為、集まりの場を開きヒアリングや研修を行う。